

平成28年度の **主な取組み** (決算額)

水道局では、水道事業運営の基本計画「福岡市水道長期ビジョン」において設定した8つの施策目標の達成に向け、下記事業に取り組みました。

水の安定供給

渇水対策容量を持つ五ヶ山ダム
の建設(平成29年度完成予定)
25億円
浄水場や配水管など水道施設の計画的な
整備・更新 など **90億3千万円**



試験湛水中の五ヶ山ダム

節水型都市づくり

配水調整システムによる効率的な
水運用、漏水防止対策、「水をた
いせつに」広報の実施 など
10億1千万円



音聴棒を使用した漏水調査

安全で良質な水道水の供給

市内水源かん養林の用地取得・
整備、貯水槽水道の適正管理の
啓発、連続水質監視装置の増設
など **2億8千万円**



小規模貯水槽の現地調査

災害・危機管理対策の推進

浄水場などの重要施設や配水管
の耐震化、災害発生時の応急給
水・復旧体制の充実 など
14億8千万円

避難所や救急告示病院などへの
給水ルートを優先的に耐震化
これまでに対象施設256箇
所のうち134箇所を整備済
み(平成36年度までに整備
完了予定)

広報の充実とお客さまサービスの向上

小学校向け出前講座の実施、水
道料金等のクレジットカード継続
払いの推進 など
5千万円

環境保全の推進

曲淵ダムへの小水力発電設備の
設置に向けた工事、ミャンマー連
邦共和国やフィジー共和国への水
道技術協力 など **6千万円**

水源地域・流域との連携・協力

水源地域・流域との交流、市外水
源かん養林の整備支援、水源林
ボランティアとの共働事業の実施
など **6千万円**

安定経営の持続

営業所業務の民間委託などによ
る経営の効率化、水道技術研修
所における人材育成 など
10億円

平成29年度を計画初年度とする**新たな基本計画「福岡市水道長期ビジョン2028」**を策定いたしました。
安定経営の持続を図りつつ、さらなる水の安定供給に向けて、取り組みを進めていきます。

【経営企画課】 電話483-3107 ファクス482-1376 メール k-kikaku.WB@city.fukuoka.lg.jp

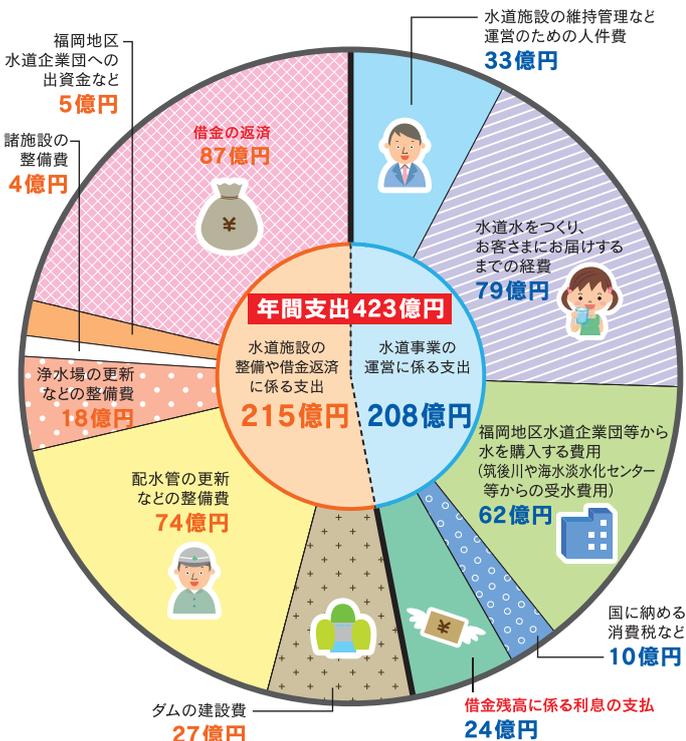
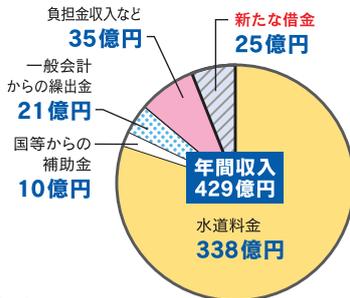
平成28年度の 財政状況

水道事業については、事業の運
営や水道施設の整備、借金返済
のため年間423億円を支出し、水
道料金や新たな借金等の年間収
入429億円で賄っています。

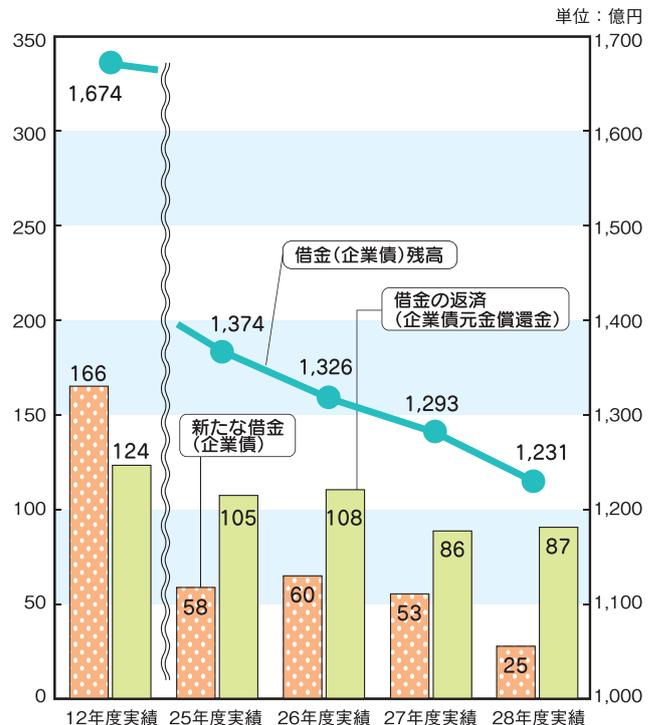
(年間収入及び支出は、減価償却費などの
“現金を伴わない収入や支出”を除いています。)

注1) 損益計算書や貸借対照表などの平成
28年度決算書は水道局ホームページに
掲載しています。

注2) グラフ記載の数値は消費税を含んだ金額です。



借金(企業債)残高の推移



水資源に恵まれない福岡市では、企業債を活用して多くの水源開発を行ってきており、その残高は平成28年度末で1,231億円となっています。これは料金収入(消費税抜)の約3.9倍にあたり、他の政令指定都市等の平均が2倍程度であるのと比べて非常に高い値となっていますが、経営の効率化に努めたことにより、**ピーク時の平成12年度末と比べると、16年間で443億円の削減**となりました。将来に過大な負担を残さないよう、今後もさらに企業債の返済を進め、安定経営の持続に努めてまいります。

【経理課】 電話483-3115 ファクス483-1163
メール keiri.WB@city.fukuoka.lg.jp